

暫定公開版

# IPtalkマニュアル #006

## 「8人モニター」ウィンド

2014年7月21日版

これは、IPtalk9t マニュアルの暫定公開版です。

下の NCK 会員向け前書きに書いたように、動作確認の手間を NCK の会員にお願いして、IPtalk9t のマニュアルを作成しようと思ったのですが、栗田が書くこと自体に時間を取ることができず「IPtalk9t の全機能」どころか「よく使う機能」の説明でさえ「いつになるか分からない」という状況が続いています。そこで、「機能限定でも役に立つ」という暖かい意見も頂戴していることもあり、書いたマニュアルは、できるだけ暫定でも一般公開したいと考えます。何時の事になるか分かりませんが、最終的には、1つのマニュアルにまとめたいと考えています。

### 【使用の制限】

- ・このマニュアルは、個人的な使用に限定します。
- ・このマニュアルの PDF データや印刷物を個人的にサークル、学校、知り合いなどにコピーして渡すの自由です。ただし、再配布は、必ずオリジナルのまま行い、一部のみ配布、修正などは行わないでください。
- ・ホームページなどに掲載して不特定多数に配布することは禁止します。
- ・このマニュアルを講習会で使用する、本やテキストなどに引用するなど、個人的使用を越えた使用を希望する場合は連絡してください。

### 【お願い】

今後のために「IPtalk のマニュアルをどのような方が使っているか？」を知りたいので、このマニュアルを手に入れた方は「①名前②所属、又は、県名③入手した方法」をメールしていただくとありがたいです。

【連絡先】 office@nck.or.jp

2014年12月31日 栗田

-----  
以下は、2014年7月「NCK 会員向けマニュアル」の前書き

このマニュアルは、NCK 会員の会員専用です。NCK 会員が、サークル、学校、知り合いなどにコピーして渡すの自由です。ただし、もらった非会員が、さらにコピーすることはできません。ホームページなどに掲載することもご遠慮ください。

みなさんもお存じのように、マニュアルを書くのは、膨大な労力がかかります。パソコン環境が、XP か Vista か Windows7 であるかとか、ファイアウォールとか、どんなソフトがインストールされているかなど、IPtalk の動作に影響があるいろいろなことを考慮する必要があります。また、IPtalk の各機能は、表示設定によって動作が異なる場合があるため、その人が「いつも使っている表示設定」での操作が分かるように記述する必要があります。現在、500 項目くらいの表示設定があるため、この組み合わせは気が遠くなります。

そもそも、IPtalk は、10 年以上も、その時々で機能追加を繰り返して来たので、プログラム自体が、まるで建て増しを繰り返した老舗温泉旅館の廊下のような迷路になっていて、マニュアルを正確に書くために、プログラムを当たったり、例外的な動作を調べたりするだけで膨大な労力がかかってしまいます。また、マニュアルというからには、IPtalk の機能を一通りは網羅したいと思うのですが、IPtalk は現在、ウィンドウを 37 個持っていて、実際は、1つのプログラムというよりも、37 個のプログラムの集合体と言った方が良いかもしれない状況も問題です。プログラム行数は、IPtalk9t61 の時に 139,383 行という気の遠くなる行数でした。

それに、せっかく書くのであれば、初心者の人だけではなく、パソコンに詳しい、長年 IPtalk を利用して来た人にも「へえ～、そうだったんだ～」と言って欲しいという気持ちもあって、ますますハードルを高くしてしまい、この数年、マニュアルを作成する必要性は感じていながら、IPtalk のマニュアルは、IPtalk9i,9s シリーズを最後に手が付きませんでした。

しかし、IPtalk9t シリーズができて、5 年が経とうとしています。そこで、発想を変えて、一つの機能限定のマニュアルを栗田の記憶と簡単な動作確認で作成し、NCK 会員に限定配布し、例外的な動作や気づかなかった項目は、会員のみなさんから教えてもらうことで、完成度を上げる方法でマニュアルを作りたいと考えました。将来的には、これらのマニュアルを集めて、NCK から一般公開できると良いと思っています。みなさんのご協力をお願い致します。

さて、今回は、「8人モニター」ウィンドです。

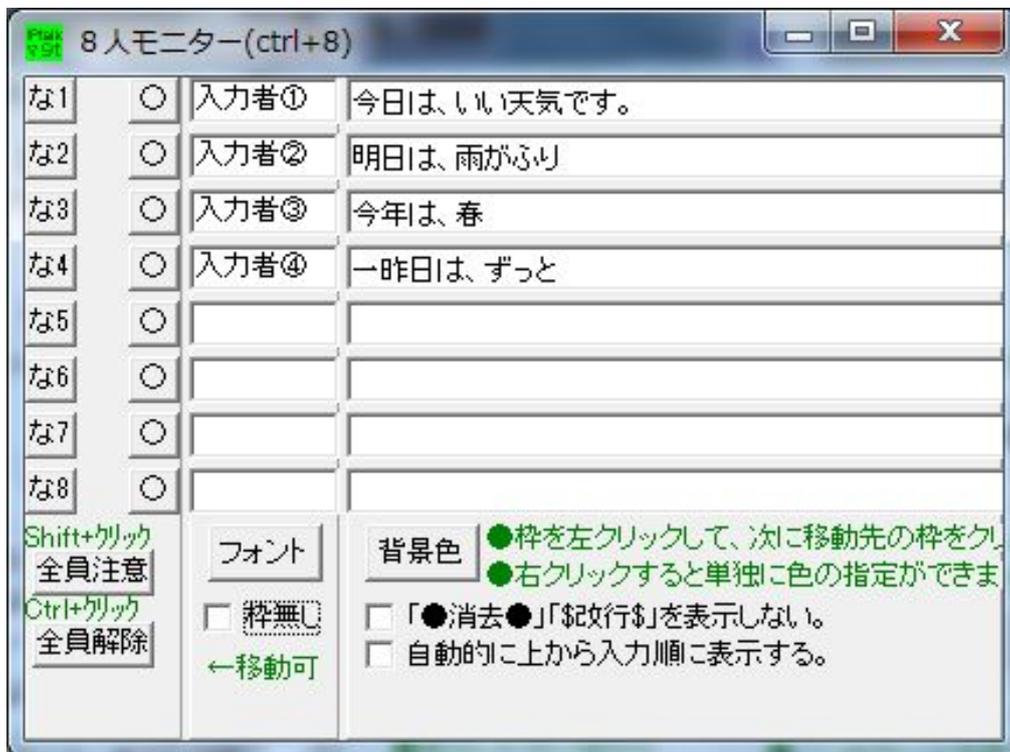
2014年7月 栗田

---

#### 【履歴】

2014年7月21日 NCK 会員向け初版

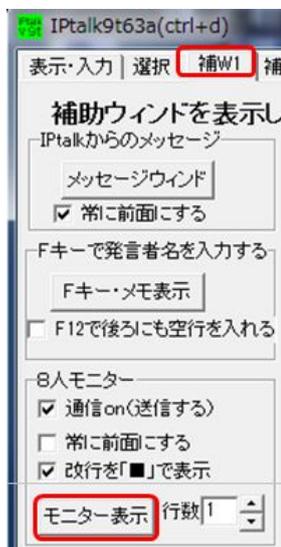
2014年12月31日 暫定一般公開



### 【概要】

8人モニターは、入力班全員の入力過程をモニターできます。表示の順番は、パートナーページと同じです。「な」ボタンは、「なってよ！」ボタンと同じです。

8人モニターは、関係入力を補助する重要な機能です。特に、チームで入力補助をする時は8人モニターを使います。

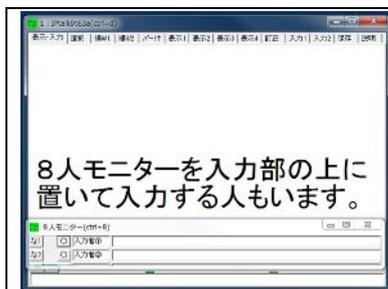


「8人モニター」ウィンドは、「補助W1」ページの「8人モニター」枠の「モニター表示」ボタンを押すと現れます。

8人モニターは、当初、「サブ入力」ウィンドを使う時の「どこでも移動できるモニター」ウィンドとして作りました。その当時、(たぶん2000年の初め頃は、)「表示・入力」ページの入力部・モニター部が、固定的な2人関係入力に使われていたのに対し、「サブ入力」ウィンド・「8人モニター」ウィンドは、(その当時の)実験的な複数人入力(今考えるとずいぶんと無理のある方法もありましたが)を行っていた入力者の要望で作りました。このため、いろいろな機能が盛り込まれています。そのようなこともあり、2012年の「注意喚起機能」などのようなモニターに関する先駆的な試みは、「8人モニター」に機能追加しています。

8人モニターは、次のような使い方をしています。

- 1) 「サブ入力ウィンド」で入力する場合に、8人モニターをモニター部の代わりとして利用します。



8人モニターを入力部の上にレイアウトした例。

この場合は、「常に前面にする」のチェックを入れます。

また、「表示1」ページの「表示部の行数・桁数指定」枠の「行数マニュアル調整」枠で、表示部の表示行数を8人モニターが隠している行数分少なく指定します。

2) 「8人モニター」は、入力者が常に注意をはらっているため、パートナー以外の方が、補助に使う事ができません。例えば、聞き溜めが難しいくらいの数字の羅列がでて来た時に、その数字を8人モニターに表示して知らせるなどという使い方です。また、名前や固有名詞が出て来て、漢字に迷う時に、それを表示して知らせるなどという事もできます。

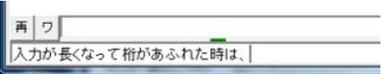
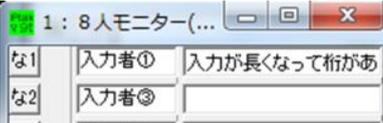
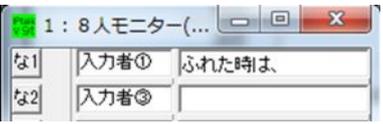
3) 2人入力を複数組作り、修正担当や前ロール流し担当など大勢の人が協力して入力する時、「誰が何をしているか？」などチーム全体の状況を知る事ができ便利です。

4) 練習会などで、指導者の方が、みんなの入力をモニターして変換の仕方などをアドバイスする時などに使えます。

5) 表示機に入力過程を表示して、即時性を改善するために使うこともあります。

6) 在宅入力時に、通信の遅延時間を色で表示してネットワークの状況を把握することもできます。

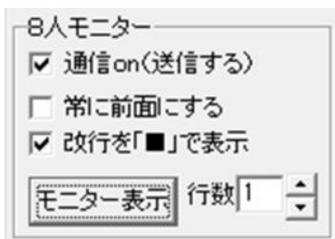
・8人モニターの表示は、モニター部と同じように、「表示2」ページの「モニターの表示方法」で文末を表示するという指定ができます。

	<p>入力部に入力した文が長い場合は、</p>
	<p>モニター部には左詰めで表示されるので、入力経過が8人モニターには表示されない場合があります。</p>
	<p>「表示2」ページの「モニターの表示方法」で文末を表示するという指定ができます。</p>
	<p>入力文を左詰めで表示します。</p>

**【ヒント】**

「サブ入力」ウィンドで入力している時は、サブ入力ウィンドのカーソルのある枠の内容が表示されます。

**【「補W1」ページの「8人モニター」枠】**



・「通信 on (通信する)」チェックを入れると、他の IPtalk の 8 人モニターに自分の入力状況を送信します。チェックが入っているのがデフォルトです。受信は、このチェックとは無関係に「常に受信」しています。このチェックを作った理由は、初期の頃(Windows95 や 98SE2 の頃)のパソコンの負荷を下げる必要があったためです。

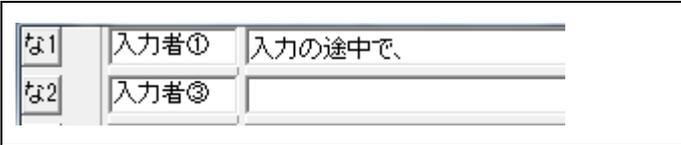
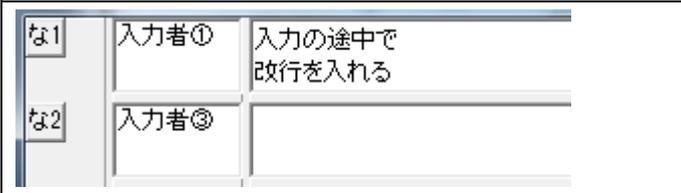
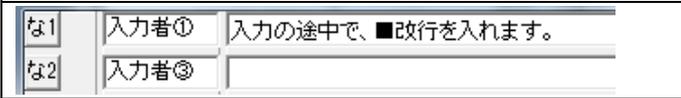
・「常に前面にする」チェックを入れると、「8人モニター」ウィンドが他のウィンドにフォーカスがある時(カー

ソルがある時)でも、そのウィンドの下に隠れなくなります。ただし、他のウィンドも「常に前面にする」チェックが入っている場合は、そのウィンドの下に隠れてしまいます

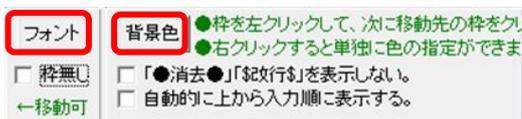
- ・「改行を「■」で表示」チェックを入れると、入力部内で改行した場合、改行位置に「■」を表示して複数行を表示します。チェックを入れない場合は、入力部の最上行から表示されるため、8人モニターの行数より多く入力部内で改行している場合は、入力経過は表示されなくなる。入力経過を表示させる場合は、「表示 2」ページの「モニター表示方法」の「8人モニター」チェックを入れると、入力部の最下行をモニター部の最下行になるように表示する。

- ・「行数」枠は、8人モニターの行数を指定できます。複数行を指定した場合は、8人モニターの桁があふれた(枠の右端まで行ってしまった)場合は、改行して続きを表示します。また、入力部内での改行した場合は、改行をそのまま複数行で表示します。ただし、「改行を「■」で表示」チェックを入れた場合は、「■」を表示して、そのまま1行で表示し、桁あふれが発生すると次の行に改行して表示します。

- ・「サブ入力」ウィンドの入力部にカーソルがある場合も動作は同じです。

	入力部で改行した場合、一行目のみしか表示しません。
	行数を 2 行にする 2 行目も表示します。
	「改行を「■」で表示」チェックを入れると 1 行内に表示します。
	「改行を「■」で表示」チェックを入れると行数を 2 行にしても 1 行で表示されます。

【「フォント」ボタン、「背景色」ボタン】

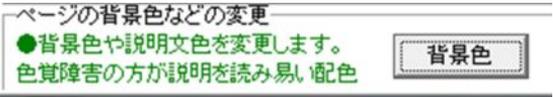
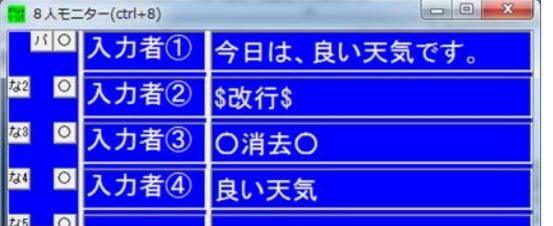


フォントと背景色を指定する事ができます。

- ・「フォント」ボタンでフォントの種類や色、大きさなどを指定できます。フォントの大きさを指定すると、フォントの高さに合わせて枠の高さを自動調整します。この時に、「8人モニター」のウィンド自体の大きさは調整しないので、大きなフォントを指定したときに表示できる枠の数が少なくなります。このような時は、ウィンドの大きさをマウスで大きくして必要な行数が表示されるように調整してください。

- ・「背景色」ボタンで枠の中の背景色が変更できます。変更できる背景色は、メンバー名枠内とモニター枠内のみです。行間の枠線などは、「表示 4」ページの「ページの背景色などの変更」の「背景色」で変更できます。た

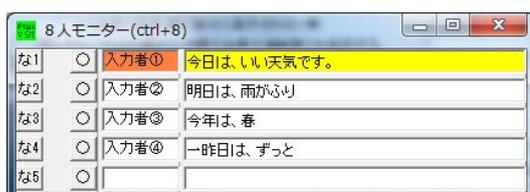
だし、枠の縦線やボタンの色は変わらないとか、他のウィンドも同時に変わってしまいます。

	<p>「フォント」ボタンで、「フォント種類」「サイズ」「色」を変更し、「背景色」ボタンで、背景色を青にしたところ。</p>
	<p>表示 4) ページの「ページの背景色などの変更」の「背景色」ボタンで、背景色を青にします。</p>
	<p>行間の横の枠線なども青に変わります。 ただし、枠の縦線やボタンの色は変わらないとか、他のウィンドも同時に変わってしまいます。</p>

・背景色やフォントの指定は、設定保存できます。この時、一番上のモニター枠の背景色を設定保存しているため、その枠を「枠内を右クリック」で個別指定していると違う色が設定保存されることに注意してください。

No	操作	操作した時の反応
F12	8人モニターの下部の「フォント」のボタンを押します。	「フォント」ウィンドが現れます。
F13	フォントの「サイズ」を「14」にします。 okボタンを押します。	ウィンドが閉じ、 8人モニターの枠が自動的に大きくなります。
F14	「背景色」のボタンを押します。	「色の設定」ウィンドが現れます。
F15	色を選んで、okボタンを押します。	8人モニターの表示枠の背景色が変わります。 F8, F9で個別の枠に指定した色も変わっています。

### 【枠内を右クリック】



枠内を右クリックすると、その枠の中だけの背景色の指定ができます。

枠を右クリックすると「色の指定」ウィンドが開きます。

色を指定すると、その枠の背景色だけが変わります。

[ヒント]

入力ペアを同じ背景色にしておくなどとしておくとう分かりやすいと思います。

**[注意]**

個別に指定した背景色は設定保存できません。

**【枠を左クリックして行を入れ替える】**

8人モニターの表示順は、「パートナー」ページの「班のメンバー一覧」と同じです。しかし、表示用のパソコンを一番下にもって来たいとか、パートナー同士を並べるとか、位置を移動する事ができます。8人モニターの枠を左クリックし（枠の表示が消えます、入れ替えたい枠でもう一度左クリックします）

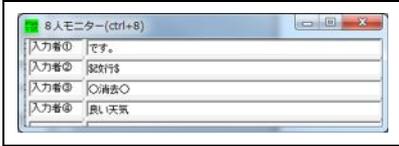
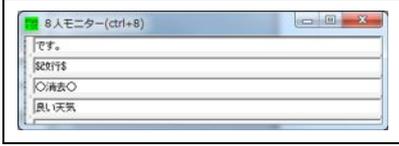
	左図のように、黄色、青、緑、オレンジの順になっていたとします。
	黄色の行を左クリックすると、行が消えます。
	次にオレンジの行を左クリックします。すると、オレンジの行に黄色が入り、黄色の元の行にオレンジが入ります。行が入れ替わりました。

**[ヒント]**

入力パートナーを一番上に配置したり、パートナー同士をまとめて表示すると分かり易いと思います。

**【スプリッター】**

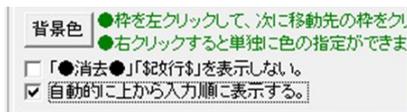
「な」ボタンなどがある枠と「メンバー名」枠との間の縦線（スプリッター）と「メンバー名」枠と「モニター部」枠との間の縦線（スプリッター）は、マウスで移動できます。

	初期の状態です。
	「な」ボタンなどがある枠と「メンバー名」枠との間の縦線（スプリッター）をマウスで左端まで移動させました。
	「メンバー名」枠と「モニター部」枠との間の縦線（スプリッター）をマウスで左端まで移動させました。

**[ヒント]**

表示の即時性を補助するために、表示機に8人モニターを表示する場合があります。そのような時に「メンバー名」枠を出さないような設定にします。

**【「自動的に上から入力順に表示する」チェック】**



「8人モニター」の「自動的に上から入力順に表示」のチェックを入れると、入力を開始した人の表示を自動的に上に詰めて表示します。Enterで流したり、ESCで消したりすると、自動的に下に移動します。

チェックを入れた直後の表示は「パートナー」ページの表示順に初期化されます。移動するのは、次の入力があった時からです。外した時も同様に位置は初期化されます。

このチェックを入れると、左クリックで位置を入れ替える事ができなくなります。

右クリックの色の指定はできます。

このチェックは、設定保存されます。

	<p>「自動的に上から順に表示する」チェックを入れた直後は、「パートナー」ページの表示順と同じになっています。</p> <p>左の図では、入力者①黄色、入力者②空色、入力者③緑色、入力者④オレンジ色の順番です。</p>
	<p>入力者②が「今日は、」と入力しました。</p> <p>入力者②が一番上に移動し、入力者①は二行目に移動しました。</p>
	<p>さらに、入力者④が「良い天気」と入力しました。</p> <p>入力者②が先行して入力しているため、入力者④は二行目に入ります。</p>
	<p>さらに、入力者①が「です。」と入力しました。</p> <p>先行している入力者②、入力者④の後の三行目に入力者①は入ります。</p>
	<p>入力者②が「今日は」の文をEnterして表示に流しました。</p> <p>入力中の入力者④、入力者①が上に上がります。</p> <p>入力者②は、入力中の入力者④入力者①の下に入ります。</p>

No	操作	操作した時の反応
F16	同じ入力班のAさん、Bさん、2人に、入力部に何か入力してもらいます。(Enterで流しません。)	入力途中の状況が表示されます。
F17	8人モニターで最上部に表示されているAさんにEnterで表示を流してもらいます。	Enterで流したAさんは、8人モニターの下に移動し、2番目に表示されていたBさんの表示が最上部に上がります。
F18	Aさんに、入力部で何か入力してもらいます。(Enterで流しません。)	Aさんの表示が2番目に上がります。
F19	Bさんに、表示をESCキーで消してもらいます。	Bさんの表示が下に行き、Aさんが最上部に上がります。

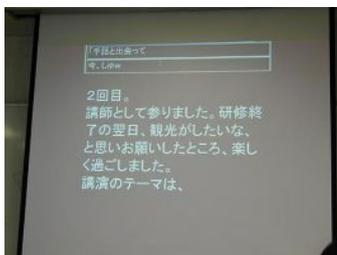
[ヒント]

この機能は、次のような2つの使い方を想定しています。

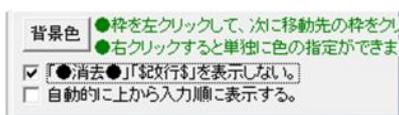
1) 2人入力などをする時に、他の斑に移動して戻って来て入力する時に、8人モニターの表示で下の方になってしまい、調整する必要があったことの対策です。

2) 8人モニターを表示用のパソコンで使い、表示の即時性を補おうとする場合に使います。

下図では、スクリーンの上に8人モニターを2行表示しています。



【『●消去●』『\$改行\$』を表示しない』チェック】



連係入力をしている時、モニター部の表示が消えた時に、表示に流したのか、入力文を消したのか判断に迷う場合があります。このため、モニター部では「入力1」ページの「入力途中クリア時メッセージ」枠で消した時のモニター表示を指定する機能があります。

8人モニターでは、「入力途中クリア時メッセージ」も「●消去●」という固定されたメッセージですが表示されます。また、入力した後にEnterを押すと、表示が空白ではなく「\$改行\$」となります。

この表示は、「●消去● \$改行\$ を表示しない」のチェックを入れると表示しなくなります。

	<p>「●消去● \$改行\$ を表示しない」のチェックを入れない場合に、Enter して入力を表示に流した時は「\$改行\$」と表示します。</p>
	<p>「●消去● \$改行\$ を表示しない」のチェックを入れない場合に、ESC キーなどで入力を消去した時は「\$消去 \$」と表示します</p>
	<p>「●消去● \$改行\$ を表示しない」のチェックを入れた場合は、空白となり何も表示しません。</p>

No	操作	操作した時の反応
F4	他の人に入力部に文を入れて、ESCキーで消してもらいます。	「●消去●」と表示されます。
F5	他の人に入力部に文を入れて、Enterキーで表示に流してもらいます。	「\$改行\$」と表示されます。
F6	「●消去● \$改行\$ を表示しない」のチェックを入れます。 他の人にESCキーで消したり、Enterキーで表示を流したりしてもらいます。	「●消去●」「\$改行\$」と表示されなくなります。

【「枠無し」チェック】



チェックを入れるとキャプション部が消えて「枠無し」になります。このチェックは、設定保存で保存されます。

	<p>「枠無し」チェックを入れる前</p>
	<p>「枠無し」チェックを入れるとキャプション部とウィンド枠が消えます。  <b>[注意]</b>          キャプション部が消えているため、マウスでウィンドの位置を移動することはできません。          ウィンド枠が消えているため、ウィンドの幅や高さをマウスで調整することはできません。</p>
	<p>このため、例えば左図のような「枠無し」で3行のみの8人モニターを出したい場合は、</p>
	<p>「枠あり」の状態で大さを調整するのですが、小さくすると「枠無し」チェックを入れることができなくなってしまいます。</p>
	<p>そのため、「枠無し」チェックは、「設定送信」ウィンドの「設定送信 1」ページの「8人モニター」枠の「枠を消す」ボタンを使い遠隔操作して入れます。          他にも「位置・大きさ・名前枠」枠で、「8人モニター」ウィンドの大きさや位置も遠隔操作することができます。  <b>[ヒント]</b>          「設定送信」ウィンドは、パートナーになっている IPTalk を遠隔操作します。</p>

8人モニターを表示に使うと、  
入力過程を見ることができる  
ので、即時性が改善されま  
す。

一般的には、  
名前は消して入力文のみ

左図は、表示機に「8人モニター」を枠無しで表示した例です。  
表示機とパートナーになって、「設定送信」ウィンドを使って8  
人モニターの位置や大きさを調整します。

【「な」ボタン、「パ」ボタン】



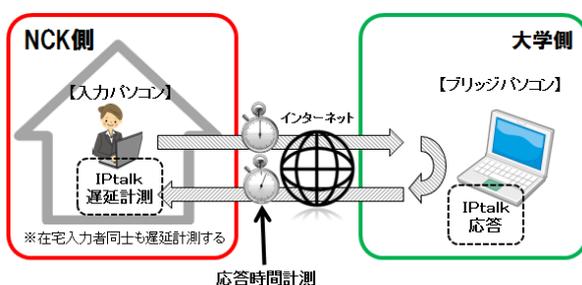
8人モニターの左端のボタンは、「パートナー」ページの「なってよ！」ボタンと「パートナー」ボタンと同じ機能です。「自動的に上から入力順に表示する」のチェックも入れておくと、その時に入力している人が最上段に表示されるので便利です。

サークルなど大勢で2人入力している時に、入力するたびにパートナーが変わることがあります。このような時に、メインウィンドのパートナーページを開かなくても良いので便利です。

【通信遅延時間表示機能】



「インターネット」ウィンドの「通信」ページの「オンラインアドレスリスト」枠の「定期的なパンチ」チェックを入れると、IPtalk が、定期的に互いの応答時間を計測してネットワーク遅延時間を「8人モニター」に色で表示する。



強制的に遅延を発生させたネットワーク環境を作り、関係入力への影響を調べた村田らは、250m 秒以上の遅延で関係入力に影響が始まり、一方の入力者のネットワーク環境が著しく不安定な場合は、分担型から主従型の関係入力に移行する必要があると述べている。(村田,木村,栗田:VPN を用いた動画ストリーミング配信による遠隔パソコン要約筆記;電子情報通信学会論文誌(D),Vol.J90-D,No.3, pp.649-661(2007))

入力文が重なるなど関係ミスが頻発した時、その原因が入力者の疲労なのか、ネットワーク遅延によるか直感的に判断することは難しい。ネットワーク遅延の場合は、時間の経過とともに改善される可能性があり、入力者が遅延を意識することで、一時的に1 入力の長さを長くするなど対策することができる。

【「○」 ボタン、「全員注意」 ボタン、「全員解除」 ボタン】

・8 人モニターの「な」「パ」 ボタンの右の「○」 ボタンは「注意喚起」 ボタンです。

		<p>「○」 ボタンは、8 人モニターが一番左のスプリッターを幅 40 ピクセル以上に広げると現れます。</p>
--	--	--

	<p>入力者同士が声で指示できない静かな現場や在宅入力などで、「注意喚起」するために、8 人モニターの背景色を「赤」に遠隔で変更できます。</p> <p>これは、8 人モニターを使って入力フォーロをしている時、入力者がパニックとなり、8 人モニターを見ない状況になった時などに使うことを想定しています。</p>
--	---

この機能は、在宅入力(インターネット経由)と現場入力(LAN)の両方で利用できます。

① 意喚起したい入力者の「○」 ボタンを押す。

	<p>② 意喚起したい入力者の「○」 ボタンを押すと「#」 になる。</p>
--	--

	<p>注意喚起された入力者の 8 人モニターの背景色が赤く変わり、キャプション部に「★見て！【送信者名】」と表示され、ボタンを押した入力者のボタンが「●」と変わる。</p>
	<p>班の他の入力者の 8 人モニターでは、注意喚起された入力者のボタンが「！」に変わる。</p>

【注意】「#」「！」に表示を変えるのは、注意喚起された入力者の IPtalk が行っている。このため、通信不良の時は、ボタンを押しても「#」とならない場合がある。繰り返し押して問題ないので、反応が無い時は何度か押すと良い。

② 意喚起された入力者が「●」ボタンを押すと「○」に戻り、背景色やキャプション部が元に戻る。

注意喚起した入力者や班の他の入力者の 8 人モニターでは、注意喚起された入力者のボタンが「○」に戻る。

③注意喚起した入力者が「#」ボタンを押すと、注意喚起が解除される。

注意喚起された入力者で「○」に戻り、背景色やキャプション部が元に戻る。

班の他の入力者の 8 人モニターで、注意喚起された入力者のボタンが「○」に戻る

これは、注意喚起された入力者がパニックになっていて、8 人モニターが赤くなったのを気づかない場合に、「赤」→「戻す」→「赤」という操作ができる。

④班の他の入力者が「！」ボタンを押しても反応しない。つまり、注意喚起した人と本人しか、解除できない。

#### 【制限事項】

次のように、注意喚起された人が、他の人に注意喚起するとマーク表示がおかしくなる。

A さん、B さん、C さんが入力班にいたとする。

①A さんが、B さんに注意喚起をする。

この時の 8 人モニターのマークは以下の通り

A さん⇒B: #、C: ○

B さん⇒A: ●、C: ○

C さん⇒A: ○、B: !

②B さんが、C さんに注意喚起する。

A さん⇒B: #、C: !

B さん⇒A: ●、C: #

C さん⇒A: ○、B: ●

③B さんが、A さんからの注意喚起を解除する。

A さん⇒B: ○、C: !

B さん⇒A: ○、C: #

C さん⇒A: ○、B: ○←コレは「●」が正しい

以上の操作をすると③で、C さんの 8 人モニターで、B さんから注意喚起されていた「●」が「○」になる。

この時、C さんは、ボタンが「○」で赤表示となっているため、C さんは、自分で、赤表示を解除できず、B さんが「#」ボタンを押して解除する必要がある。

このようになる理由は、IPtalk は「！」→「○」にしているつもりで、一つのボタンに 2 つのマークを表示する

ことを想定していないからである。

★注意喚起された人は、他の人に注意喚起はしないこと！

・「全員注意」「全員解除」ボタンを押すと、注意喚起機能の「全員注意」と「注意解除」が全員に送信されます。



「全員注意」は、8人モニターの背景が黄色になります。  
注意喚起した人が「●」になる。  
キャプション部が「★全員！★」になる。

また、「8人モニター」の右側の「名前部」「モニター部」で「Shift+左クリック」が「全員注意」、「Ctrl+左クリック」が「全員解除」として動作します。

Shiftを「注意喚起」に割り当てたのは、キーが大きく緊急時に押し易いことに配慮しました。

通信がロストして一部の人に「注意喚起」「喚起解除」が届かない場合などは、何度もダメ押し操作しても構わない。

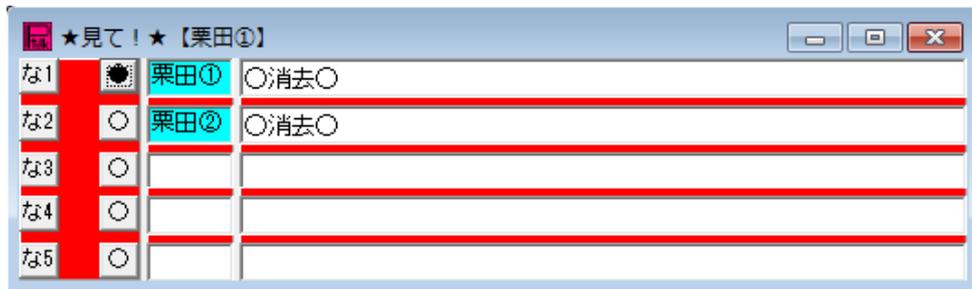
また、個別に操作しているなど、入力班内で異なる注意喚起状態にある場合でも、全員を「注意喚起」「喚起解除」する。

#### 14)注意喚起機能の利用

交代合図に気付かなかつたり、入力文字が間違っている時など、入力部での呼びかけだけでは気付かない入力者に対し、注意喚起ができる機能。

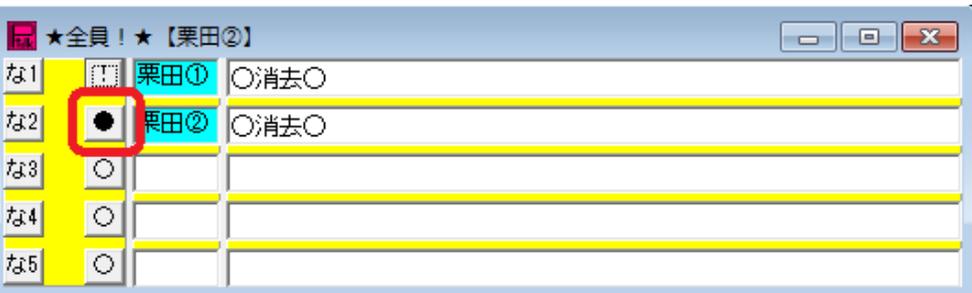
その他も、自分の緊急を知らせる時など、使い方はさまざまです。

##### ①自分だけ注意喚起された場合



8人モニターが赤くなり、  
注意喚起した人が「●」になる。  
何に対する注意喚起なのか、●  
の人の入力を見ること。

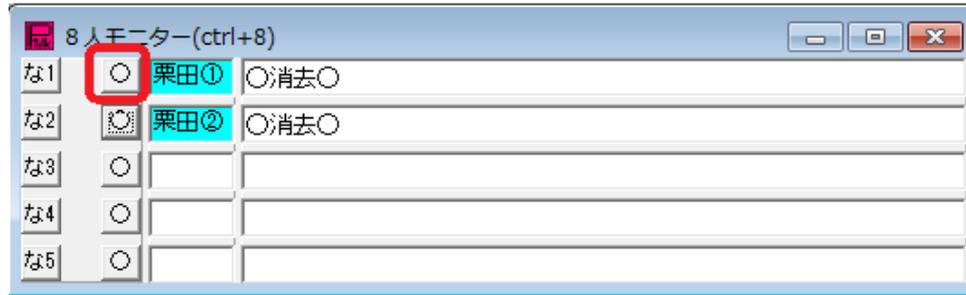
##### ②全員が注意喚起された場合



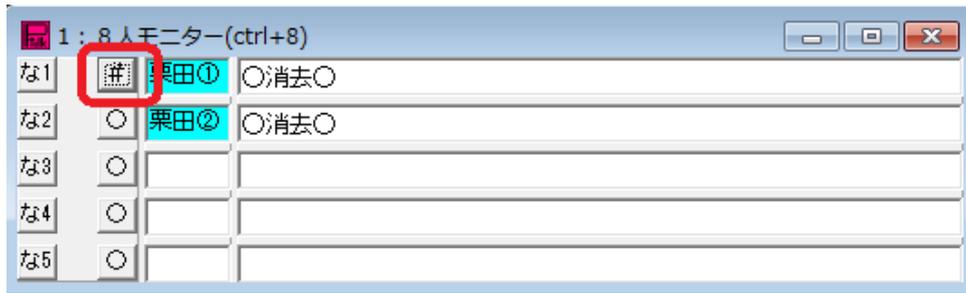
8人モニターが黄色になり、注意  
喚起した人が「●」になる。  
何に対する注意喚起なのか、●  
の人の入力を見ること。

※注意喚起された状態を解除したい場合は、「●」をクリックすれば元に戻る。

### ③1人の入力者だけを注意喚起する場合



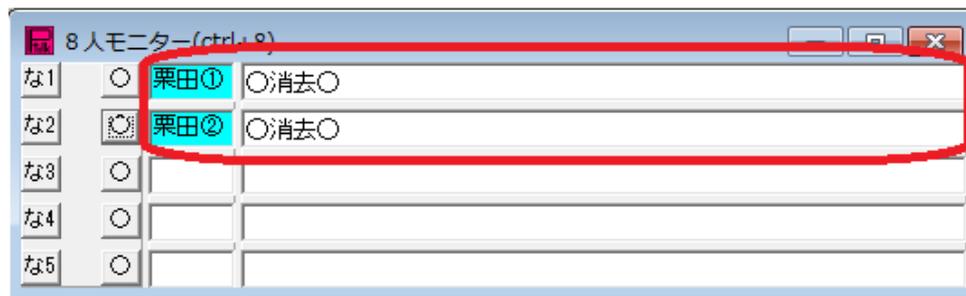
注意喚起したい相手の「○」ボタンを押す



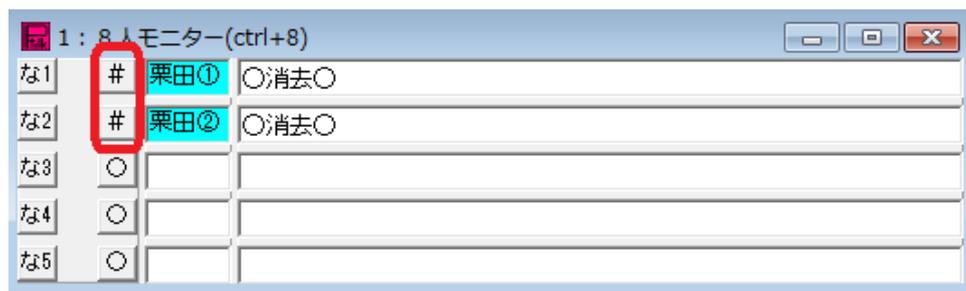
押した相手が、「#」に変わる。  
(この時、注意喚起された人は、8人モニターが赤くなる)

※注意喚起を解除したい場合は、「#」をクリックすると、元に戻る。

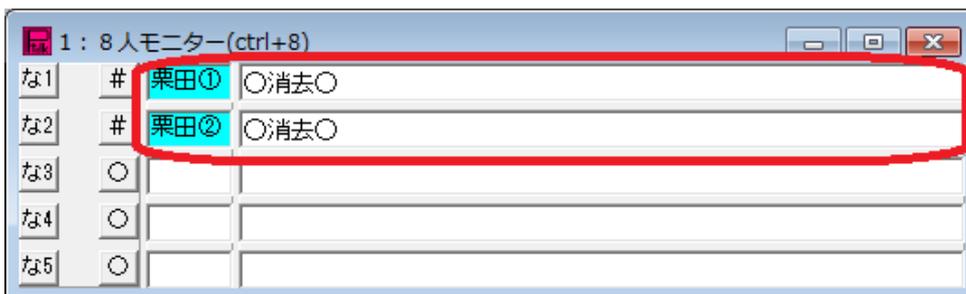
### ④入力者全員に注意喚起をする場合



「Shift」を押しながら、入力者の名前もしくは、入力が出る部分をクリックする。



全員が「#」になる。



注意喚起した状態を解除したい場合は、「Shift」を押しながら、入力者の名前もしくは、入力が出る部分ををクリックすれば、元に戻る。